

【1】 法人

1. 理念

キリストの教えに基づき「人を愛し、助け、支える」を実践する。人を大切にし、人に感謝する。

2. 法人全体の目標

- 1) 利用者様に充足を感じていただけるように務めます。
 - 専門職業人としての資質をもって取り組みます。
 - 施設・事業場・事務所・敷地・車両等の整頓、清掃、美化に努めます。
 - 複合事業体の強みを生かして取り組んでいきます。
- 2) 「知る」「知らせる」の仕組みを向上させていきます。
 - 従業者ひとりひとりが情報をきちんと受け取る、受け取れる環境を整えます。
 - 「知らない」「聞いていない」「関係ない」を減らすように努めます。
 - 非効率な会議を見直すなど慣例に縛られない方法で取り組みます。
- 3) 近隣地域との交流を大切にし、地域に役立つことをおこないます。
 - 私たちが地域に貢献できることに取り組みます。
 - 地域への情報発信・情報提供に努めます。
 - 地域の様々な情報の収集に努めます。

3. 概況

- 1) ①新型コロナウイルスに起因する運営への影響が様々生じた。
 - ・介護職員の高熱により、ショートステイの受入れ制限を実施。(陰性)
 - ・デイサービスで登録者の利用控え、及び県外の方との接触者に対する利用制限を実施。
 - ・非常事態宣言期間等において、ケアハウスの新規受入れ制限を実施。
 - ・特別養護老人ホームで陽性者1名があり、新規受入れ制限を実施。
- ②同一労働同一賃金への対応等も含め労務規程等を整備した。
 - ・社労士の監修により、常勤職員就業規則、常勤職員賃金規程、非常勤職員就業規則、育児・介護休業に関する規則を改正した。(3頁※注記参照)
- ③財務会計システムを新規に入替え導入した。
 - ・長く活用してきたICSのシステムから、新たにCIJのシステムへと刷新した。
 - ・軌道に乗せるため担当者に大きな負荷が掛かったが、導入メリットを上げていきたい。
- 2) 労務状況
 - 採用9名(常勤5名・非常勤4名・内新卒0名)
 - ・定年後継続再雇用1名、非常勤から常勤への雇い替え1名
 - 退職8名(常勤6名、非常勤2名、内定年退職1名、内採用同年度退職1名)離職率7.8%
 - ・特養4名(介護3・相談1)、ヘルパー2名、伊勢寺デイ1名(介護)、ケアハウス1名(宿直)
 - 採用の難しい職種(看護師・相談員)について人材紹介会社を利用
 - ・特養2名(准看護師1名、生活相談員1名)
- 3) 設備整備・改修
 - 新型コロナ感染対策として各所で除菌装置を設置した。(緊急包括支援交付金を活用)
 - ・特養、デイサービス:オゾン脱臭機(@21万円)、ケアハウス:除菌脱臭機8台(@55,000円)
 - 特別養護老人ホームの東棟空調改修事業は、実施を見送った。

4. 理事会

開催日時	協議議案	出席状況
R2. 6. 2(火) 13:30～15.10	第1号議案 令和元年度事業報告の承認 第2号議案 令和元年度決算報告書の承認 第3号議案 役員報酬規程改正の承認	理事6名 (欠席なし) 監事2名
R3. 3. 23 (火) 13:30～15:25	第1号議案 令和2年度補正予算案の承認 第2号議案 令和3年度事業計画案の承認 第3号議案 令和3年度予算案の承認 第4号議案 定時評議員会招集に関する承認	理事5名 (1名欠席) 監事2名

5. 評議員会

開催日時	協議議案	出席状況
R2. 6. 20(土) 13:30～15:00	報告事項 令和元年度事業報告 第1号議案 令和元年度決算書類の承認 第2号議案 役員報酬規程一部変更の承認	評議員6名 (2名欠席) 監事2名

6. 主な活動

実施日	内 容
R2. 4. 16	休業手当について職員へ文書通達 新型コロナに係る休業補償を平均賃金の70%とする（労働基準法では60%以上）
5. 14	無藤和博会計事務所による年度監査（来訪実施なし）
5. 28	監事年度監査
6. 2	令和2年度第1回理事会
6. 20	令和2年度定時評議員会
6. 16、23	職員健康診断（松阪市健診センター・検診車）97名受診
6. 26	資産変更登記 1,417,817,174円
7. 25	苦情第三者委員会（上半期）
11. 19	会計監査（中間）（無藤和博会計事務所）
11. 20	監事・理事等意見交換会（課題等に対する意見交換）
12. 18	職員の子供のためのクリスマス会中止につきプレゼント配付
12. 25	クリスマス行事
R3. 1. 1	元旦祝賀昼食会
1. 14, 15	非常勤職員向け説明会（就業規則改正内容説明）*注記参照
2. 5	新型コロナ陽性者発生の対応（外部への報告、HPによる情報開示他）
2. 8	（在宅事業）常勤職員向け説明会（就業規則、賃金規程改正内容説明）*注記参照 特養常勤職員には資料配付のみ
2. 12	ワクチン接種説明会（三重県）オンライン研修参加
3. 8～	非常勤職員個別説明（雇用更新契約について個別面談）
R2. 4～ R3. 3	地域貢献事業「ほっと一息」活動 年間6回実施、延人数92名 (新型コロナのため中止11回)
毎月1回	法人理念講話（未実施月有り）
R2. 4～5	春期 職員腰痛検診（宮村医院）
R2. 9～10	秋期 職員腰痛検診（宮村医院）

7. 会議等

実施日	内 容
毎月1回	執行役員会議（R3.2は新型コロナにより中止）
毎月1回	管理者会議（各事業所管理者集合会議）
毎月1回	事務会議（特養施設長、在宅事業所長、特養事務主任、各事務担当、法人事務局）

*(注記) 各種規則改正内容

- 常勤職員就業規則改正
 - ・ 業務別調整手当の基本給への組み入れと、業務別調整手当の廃止
 - ・ 年次有給休暇の時間単位取得（年 5 日以内）
 - ・ 誕生日休暇（特休）の新設
- 常勤職員賃金規程改正
 - ・ 基本給額の増額に伴い給与等級表の変更
- 非常勤職員就業規則の改正
 - ・ 給与等級表の新設（昇給制度との連動）
 - ・ 不合理な待遇格差の是正（特休規定等）

8. 新型コロナウイルスの助成金・交付金・補助金申請状況

1. 両立支援助成金（小学校休業等対応コース）：子を持つ親の休業補償
支給決定日：令和 2 年 7 月 22 日
支給決定額：308,661 円（対象者職員 3 名、28 日分）
2. 緊急包括支援交付金（介護分）： ※介護慰労金@50,000 円／人
 - 特養・デイ・ヘルパー・伊勢寺デイ・居宅支援分
支給決定額：5,474,000 円（支給決定日 R2.9.28）
内訳：介護慰労金 105 名分 5264 千円、サービス提供支援事業：210 千円
 - ケアハウス分
支給決定額：955,000 円（支給決定日 R2.10.8）
内訳：介護慰労金 14 名分 704 千円、サービス提供支援事業：251 千円
 - 特養分（追加）
支給決定額：201,000 円 介護慰労金 4 名分（支給決定日 R2.11.24）
 - ケアハウス分（最終）
支給決定額：793,000 円 サービス提供支援事業（支給決定日 R3.2.8）
 - 特養・デイ・ヘルパー・伊勢寺デイ・居宅支援分（最終）
支給決定額：6,297,000 円 サービス提供支援事業（支給決定日 R3.2.24）
 - ※ 介護慰労金の合計額 6,169,000 円（振込手数料含む）
対象者人数 123 名（職員 101 名、外部 22 名）（外部とは業務委託業者からの派遣従業者）
 - ※ サービス提供支援事業の内訳
マスク、ビニール手袋、防護服、フェイスシールド、消毒液等衛生用品、除菌装置、飛沫防止シート等購入費
3. サービス継続支援事業費補助金（陽性者又は濃厚接触者が出た施設の実経費の補填）
 - 特養・ケアハウス分
支給決定金額：850,000 円〔特養：753 千円、：97 千円〕（支給決定日：R3.3.11）

受給合計額：14,878,661 円 うち ①対象職員等への振込額：6,477,661 円
②各施設経費への充当額：8,401,000 円

【2】 特別養護老人ホーム、短期入所者生活介護

1. 職種別職員数（R3.3.31 現在）

単位：人

職 種	員 数		兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1						
介護支援専門員	1						
ケアワーカー	31	6		1		3	
看護師	4			1		1	
管理栄養士	1						
調理員							
生活相談員	3			1		1	
事務員	4	1					
作業療法士		1					
医師							
理学療法士							
介助員	1						
用務員		3					
シルバー人材							

2. 特養利用状況、月別入退所状況（各月末人数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用者	86	85	87	88	88	89	87	86	88	88	86	87	1045	87
入所	1	2	3	3	0	2	0	2	3	0	0	2	18	1.5
退所	3	3	1	2	0	1	2	3	1	0	2	1	16	1.6

3. 短期入所利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人	36	41	39	39	36	39	40	44	39	40	19	35	447
延日数	454	503	450	464	464	469	519	581	537	526	353	513	5833

4. 利用実人員（入院者を除いた数）

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
83	81	84	86	84	86	84	82	85	86	84	84	1009

5. 介護度別利用人員

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援														
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
要介護2	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	55	4.6
要介護3	18	18	18	17	17	16	16	15	16	15	15	16	197	16.4
要介護4	30	28	30	32	32	34	34	34	37	37	37	35	399	33.2
要介護5	33	34	34	34	34	33	31	31	29	30	30	30	382	31.8
計	86	85	87	88	88	89	87	86	88	88	86	87	1045	87

6. 入退居状況

入所直近の状況	人	退所理由	人
在宅	8	死亡による	19
老人保健施設	1	在宅復帰	0
養護老人ホーム	0	長期入院	0
ケアハウス	3	他施設	0
病院	2	その他	0
短期入所継続	0		
他施設	4		

7. 利用期間状況

期間	男	女	計
1 年未満	3	14	17
1 年～3 年未満	7	22	29
3 年～5 年未満	6	13	19
5 年～10 年未満	4	13	17
10 年～15 年未満	0	2	2
15 年以上	0	3	3
計	20	67	87

8. 年齢・性別状況

	男性	女性
最高年齢	99	104
最低年齢	84	70
平均	90.7	90.2
全体平均	90.3	

9. 各種会議

会議名	出席者職名	実施月
役員会議	理事長・理事・施設長・在宅事業所長・センター長	月1回
ドリームPA会議	施設長・在宅事業所長・センター長・課長	月1回
主任会議	施設長・課長・各主任	月1回
職員会議	全職員	月1回
感染症対策委員会	施設長・課長・主任・看護師	月1回
身体拘束廃止委員会	施設長・課長・主任・看護師	3カ月に1回
入所判定委員会	施設長・課長・主任・看護師	3カ月に1回

10. 研修状況

《法人内研修》

開催年月日	研修テーマ等	参加職種
	無し	

《施設内研修》

5月21日	事故防止、苦情について	全職員対象
8月20日	介護予防、食中毒について	全職員対象
9月17日	認知症ケアについて、褥瘡予防について	全職員対象
10月15日	プライバシーの保護について、感染症について	全職員対象
11月19日	看取りについて	全職員対象
12月17日	緊急時の対応について	全職員対象
1月21日	倫理及び法令順守について	全職員対象
3月18日	身体拘束の廃止の為の取り組みに関する研修	全職員対象

《スキルアップ研修》

7月22日	事業所間プロジェクト報告、ルールについて	全職員対象
8月27日	今後の展望について	全職員対象
9月24日	勤務時間について	全職員対象
10月22日	上半期の総括・下半期への取り組みについて	全職員対象
11月26日	事業所間プロジェクト報告、各委員会から報告	全職員対象
1月28日	事業所間プロジェクト報告、倫理及び法令順守について	全職員対象
3月25日	令和2年度事業計画の振り返り3年度事業計画について	全職員対象

《施設外研修》

12月8日	ユニ・チャーム web セミナー	4名
1月14日	新型コロナウイルス感染症対策セミナー	11名
1月21日	口腔ケアに関する研修会	5名

＊新型コロナ感染防止の為、出張研修は派遣無しでした。オンラインでの研修のみ。

1 1. 監査・介護情報の公表調査等

受付年月日	実施主体	内容	担当者
5月28日	法人監事	監事監査	施設長
6月22日	県集団指導	介護保険の集団監査	課長
11月1日	情報公開制度	インターネットにて情報公開	施設長

1 2. 苦情受付等の状況

受付年月日	苦情申立者	内容
9月13日	ケアマネジャー	連絡表と事実が異なっていた。
10月9日	本人	利用者様に不適切な発言。始末書を提出させる。

1 3. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
4月2日	開設記念日（行事食）	御ちそうを頂き皆さんで開設記念をお祝い。
9月18日	敬老行事	お祝い膳、夏まつりで出来なかった踊りを披露。
12月14日	サンタクロース	サンタクロースが皆さんにプレゼントを配る。
12月25日	クリスマス	昼食会にてクリスマスを祝う。
1月1日	元旦昼食会	昼食会にて新年を祝う。

＊今年度はコロナの為、行事は大幅縮小、中止となりました。

1 4. クラブ活動等

	書道		グループレク		計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
4月	中止	中止	21	223	21	223
5月	〃	〃	18	185	18	185
6月	〃	〃	20	176	20	176
7月	〃	〃	21	196	21	196
8月	〃	〃	38	263	38	263
9月	〃	〃	28	222	28	222
10月	〃	〃	36	301	36	301
11月	〃	〃	38	272	38	272
12月	〃	〃	48	351	48	351
1月	〃	〃	40	286	40	286
2月	〃	〃	21	123	21	123
3月	〃	〃	38	259	38	259
合計	0	0	367	2857	367	2857

1 5. リハビリ状況等

平成 31 年 3 月末

区分	場所	実施日	担当者	内容	人数	備考
ベッドサイドリハビリ	居室	月～金	作業療法士	機能維持訓練 環境整備	14名	
グループリハビリ	東棟 1F フロアー	月～金	OT 補助	歌・体操 脳トレなど	59名	ボランティア参加
OT リハビリ	機能訓練室	月～金	作業療法士	機能訓練 ADL 練習 物理療法など	22名	個人の状態により 実施回数は異なる
音楽療法 東棟 南棟	機能訓練室	月 3 回	音楽療法士 OT 補助	歌唱・体操 楽器演奏 等	48名	
音楽療法 中央 北棟	聖堂	月 3 回	音楽療法士 OT 補助	歌唱・楽器演奏 体操等	33名	

1 6. 施設整備状況

《物品購入》（1 件 10 万円以上）

検収月	物 品 名	数量(単位)	税込購入費(円)	リース利用の有無
12/21	コロナウイルス発生対策の為の諸物品		2,310,000	無
12/21	非常用飲料水	114 箱	219,153	無

《整備事業》

実施月	整 備 事 業 名	税込事業費(円)	リース利用の有無
8/13	北棟 19 号室エアコン水漏れ修理	434,500	無
8/13	東棟スプリンクラー設備修理	195,800	無
8/24	中央棟外壁の取り付けのプルボックスが経年劣化取替	154,000	無
8/31	北棟サービスステーションエアコン取替え	198,000	無
12/21	東棟アロエース冷温水ポンプ交換	410,000	無

1 7. 事業目標に対する総括

《介護》

1. 専門職としての自覚を持ち、利用者主体の介護とサービスの質の向上に努めます。
2. 知らない、聞いていない、関係ないを減らすように職員間の意思疎通を深め、情報の共有に努めます。

・コロナ禍の中、入居者の方には、満足した生活を送って頂くことが出来なく、大変申し訳なかったと思います。その中でも、入居者の方に適した口腔ケア、体位交換、体調の変化等で支援方法の変更など職員同士で話し合い、より良い方法を模索して出来る範囲で要望に答えられたのではないかと思います。反面、食事時間に要する時間が多くなり、その遅れが次の支援に影響したこともあった。

《看護》

1. 医務で、医療的知識を高めるよう勉強会を行い、専門職としての自覚を持ち、行動できるよう努めるよう目指します。

・医務室の人員が減少し、新たな人材も育成することが出来ず、精神的にも、身体的にも日々業務に追われていた状態であった上に、当施設でも 2 月にコロナ感染者が 1 名出て、感染対策強化に努め、以後も健康観察の為、毎日利用者全員の検温を実施している状況で、医務室での医療的知識を高めるような勉強会に着手できなかった。

《給食》

1. 地域と繋がり助け合う、開かれた施設を目指します。秋祭りやほっと一息等、地域との関わりに貢献できるように努めます。
2. 専門職としての自覚を持ち、お互いに成長できる職場環境作りを目指します。
3. 知らない、聞いていない、関係ないを、減らすように努めます。共通理解してもらえよう情報の伝達、説明に努めます。

・下半期に実際に施設内でコロナ感染症が発生した事で、色々と考え直さないといけないところがありました。コロナ感染症発生時の物品の使用法についてもう少し節約できたと思える部分があり、利用者の食事ケアに関しても平常時と同じようにできないのは仕方ないですが、出来ないなら出来ない中で何を優先するのか専門職としてしっかり打ち出していけるよう今後に繋げていきたいと思えます。

・平常時において、コミュニケーションを取る時になるべく言葉と文書と両方で取るよう心掛けてきました。ただ、コロナ等、非常時において栄養士が出勤できなくなった場合の食事の注文について日清医療食品の方とはあらかじめ対応を取り決めておりましたが、施設職員とはしっかり話し合いをしていませんでした。委託側でも取り決め通りの対応をしてもらえますが、状況の変化に対応する為に指示を出すのは施設側ですので非常時の対応について、しっかり話し合い、最悪の事態にならないよう、又大きなロスが出ないように努めてまいります。

《相談員・ケアマネージャー》

1. 施設で生活するご利用者の事を自分のことのように捉え、責任感をもって介護に取り組めるようなアイデアで現場を活性化する。
2. 現場との信頼関係を大切に伝達事項は必ず書面化し「知らない・関係ない」を減らす。

- ・生活相談員の欠員にともない、現場へのアプローチのスピードが減退したように思います。当初は、生活相談員を棟別で配置していましたが、既設棟、東棟に1名ずつ配置となり、現場に足を運び、連携を密にしなければなりません。PDCAの流れは、まだ作れていない現状があり、入居者への支援が滞ってしまったこともあったのではと思います。
- ・信頼関係の構築のため、得た情報を確実に現場に提供することが、必要であると思います。しかし、伝達の忘れや行き違いがあり、現場を混乱させたこともありました。書面での伝達をし、その履行確認においても現場に足を運び、現場と一緒に入居者の支援を今後も考えていきたいと思っています。

《機能訓練》

1. 信頼が得られるコミュニケーションに心がけ、ニーズに寄り添ったサービスに努めます。
2. 批判を避け、良いところに目を向け、共に成長できる場となるよう心掛けます。

- ・利用者様の機能面、能力面に関して他部署間と情報共有に努力したと思いますが、一部の職員に偏ってしまう傾向にあり、どのようにすれば多くの方と情報共有し、より良いサービス提供ができるのか、次年度の課題としたいと思います。
- ・共に成長できる場となるような意識をもって取り組んできました。次年度も常に感謝の気持ちを持ち、共に成長できる場として、色々なことにチャレンジしていきます。

《事務》

1. 相互関係を深めチームで業務に取り組みます。
 - ・「知らない」「聞いていない」「関係ない」を発する前に相手のことを考えて行動します。
 - ・分からないことは必ず声に出して確認します。
2. 業務効率化を図り「ムリ」「ムダ」を無くし、コスト削減に努めます。
 - ・一つ一つの物を大事にし、再利用できるものは使用してムダをなくします。
 - ・3S(整理・整頓・清掃)の徹底。

- ・「知らない」「聞いていない」「関係ない」を減らしていけるよう総務日誌や相談員日誌、当直日誌、会議録には目を通し自ら進んで積極的に情報を得よう努めました。その上で疑問点や不明な点があれば必ず確認を行い、情報の伝達忘れや間違いがないよう記録に残しておくことを心がけました。又、こちらから情報を発信する場合も相手に内容を理解してもらえているか、その後の進展状況はどうなっているのかの確認を行いました。今後も引き続き情報の共有と相互理解を深め円滑に業務が進行するように努めてまいります。
- ・資料等、印刷の際に裏紙を利用し、またサイズの縮小や両面印刷をすることで印刷用紙の使用量を減らし、コスト削減に努めました。ゴミ処理の際のゴミ袋は一つの袋にまとめて捨てることでゴミ袋の使用枚数を減らすように努めました。3S(整理・整頓・清掃)の徹底については当直室前の廊下等、充分ではない所もありました。今後は必要な物と不必要な物の仕分けを行い、物を片付けるスペースを作り、計画を立てて整理・整頓・清掃を行うよう努めてまいります。

【3】デイサービスセンター（通所介護・総合事業 第1号通所事業）

1. 職種別職員数

単位：人

R3年3月 末現在			兼務等の状況	R2年度実績					
職種	員数			採用		退職数		社内異動	
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
事業所長	1								
介護職	5	3	生活相談員	1	1				
看護師	1	3	機能訓練指導員	1		1			
生活相談員	3			1					
事務員	1					1			
機能訓練指導員	1	3		1					
運転士		2	シルバー人材		1		1		
用務員		1	シルバー人材						

2. 利用状況、月別入退所状況（各月末日数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
延利用	582	526	565	584	545	561	570	525	558	522	534	591	6,663	555
新規利用	1	3	2	2	2	2	0	2	1	1	3	0	19	1.6
利用中止	2	6	2	2	1	3	3	1	1	3	1	5	30	2.5

○ 利用状況についての評価・考察

稼働率71.9%と昨年より10.2%下がっています。

過去に類を見ない程落ち込んだ一年でした。その理由として・・・

- *一年を通して新型コロナウイルスの影響を受けた事（県外接触による2週間利用停止措置のため）
- *ご利用者の重度化に伴い、利用回数は増えても一時的なものがほとんどで、早い段階で入院やショート中心になってしまう事。新規利用も同様の理由で長く続かない。
- *新規利用人数が、利用中止人数に追いついていない。・・・などが挙げられます。

今後稼働率を上げていくには、利用中止者を上回る新規利用者の獲得しかありません。

3. 地域別利用者分布（R3.3.31現在）

地区名	人数
伊勢寺、岩内、美濃田	17
大阿坂、小阿坂	23
深長、八重田、曲	10
その他	17
計	67

4. 営業日数

単位：日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	26	26	27	27	26	27	25	25	24	24	27	308

5. 利用実人員

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
64	65	64	63	64	62	61	65	63	63	65	64

6. 要介護状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比 (%)
現行相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	3	3	3	4	4	4	4	5	8	7	6	8	55	4.6	0.8
要支援2	29	31	39	38	38	34	32	31	30	28	30	31	391	32.6	5.9
要介護1	210	188	205	197	184	217	220	204	225	208	207	231	2,496	208	37.5
要介護2	156	133	124	136	129	129	123	115	125	135	140	174	1,619	134.9	24.3
要介護3	110	109	107	133	113	109	103	95	109	90	93	98	1,269	105.7	19.1
要介護4	48	34	57	50	53	47	62	62	49	42	41	44	589	49	8.8
要介護5	26	28	30	26	24	21	26	13	12	12	17	5	240	20	3.6
合計	582	526	565	584	545	561	570	525	588	522	534	591	6,659	554.9	100

7. 施設内研修

研修名	開催年月	参加職種
車いすの操作・スロープ操作・移乗介助等	2/10	看護師・介護職・相談員
褥瘡について	2/11	看護師・介護職・相談員
送迎マニュアル・心肺蘇生について	2/12	看護師・介護職・相談員
栄養について～食べる事は生きること～	3/1	看護師・介護職・相談員
介護現場での接遇	3/2	看護師・介護士・相談員
プライバシー保護について	3/3	看護師・介護職・相談員

8. 施設外研修

研修名	主催	開催年月日	開催場所	参加職種
R 元年度介護保険等サービス事業者集団指導【動画視聴】	三重県健康福祉部 福祉監査課監査班	1/6/14	デイサービス	センター長
安全運転管理者研修	三重県安管協議会	2/8/20	華王殿	センター長
SWING 給与計算システム WEB セミナー	株式会社 CIJ	2/12/3	法人にて	事務員
決算事前準備編	株式会社 CIJ	3/3/12	法人にて	事務員
注記・附属明細書・財務目録・ 期首更新編	株式会社 CIJ	3/3/26	法人にて	事務員

9. 監査・介護情報の公表調査等

受付年月日	苦情申立者	内容	担当者
R2/10	介護情報の公表	パソコンでの更新	センター長

10. ほっと一息

月日	地域		年月日	地域		年月日	地域	
4/2	伊勢寺(荒井)	中止	4/8	深長	中止	4/16	伊勢寺(北村)	中止
5/9	大阿坂	中止	6/6	八重田		/6/15	美濃田	中止
7/8	深長		9/9	深長		9/12	大阿坂	中止
10/1	伊勢寺(荒井)	中止	10/14	美濃田		11/11	深長	
11/14	大阿坂	中止	12/12	八重田	中止	12/14	美濃田	中止
R3.3/6	八重田	中止	R3.3/10	深長				

*コロナの影響で開催できない状況が続いています。深長地区はこのような状況でも開催したいという思いを持ってくださっているので感染対策を十分に取って実施できています。

1 1. 苦情受付状況

受付年月日	苦情申立者	内容
①R2/8/31	ご本人様	入浴の湯が熱かった件について
②R2/12/4	ご本人様	マスクの着用について

○改善状況

①入浴したら湯が熱く嫌な思いをした。ここにいてもご飯は食べない。怒っているわけではないが、気まま言って悪いが帰らせてとのこと。

⇒原因は、2人の職員のコミュニケーション不足で、お互いが確認しただろうという思い込みから湯の温度の確認を怠り、不快な思いをさせてしまいました。

このことから自宅でも不機嫌で、ご家族様にもご負担をお掛けする事がしばらく続きました。

入湯前には必ず浴槽内に入って湯温の確認をすることを徹底し、それだけでなく、いつでも目視で確認が出来るように湯温計を購入し設置しましたので、2重対策で繰り返しを防げるように対応しています。

②お婆さんからマスクをしていない人がいるって聞いたけど、びっくりした。このコロナの時期にマスクするのに個人の事情なんか関係ないんじゃないですか。うちのお婆さんも98歳でかかったら一発や。もう少し気をつけやなあかんのちゃうの？と言葉をいただきました。

⇒謝罪に何うと「私も、嗚呼は言ったものの昔の人は、マスクはしないし、認知症の人やったらマスクしても取ってしまうな。」と言い過ぎたとのことでした。

デイサービスで行っている感染対策についての説明を行うと同時に、マスクの声掛けをしても持参されないご利用者も複数いた事も事実の為、そういった方に対してもその都度促していくことを伝え、納得していただきました。(このことがきっかけで、現在は100%の方がマスク着用しています。)

1 2. ありがとうメッセージ

受付年月日	申し出者	内容
2/7/7	お嫁様	血圧や酸素の数値も悪い状態だったが受け入れてくれました。本人も喜んでいました。短い期間でしたが“ありがとう”
2/10/5	奥様	食事を介助しても食べる量は少なく時間がかかる。食事摂取量の紙を見て根気よく食べさせてもらったのが分かり嬉しかった。“ありがとう”
3/1/23	娘様	父が急に弱り転倒し肋骨骨折と一人暮らしが出来なくなった。施設入所までの数日間の利用でしたが、人と話し、お風呂に入り、ご飯を食べるといった基本的な事をするだけでこんなに元気になるとびっくりしました。便で汚しても嫌な顔一つしない職員さんに“ありがとう”
3/2/4	娘様	ストーマ使用で隔週で利用しています。利用初日に帰って来て幸せやと笑顔で話をしてくれました。父の笑顔でほっとしました。“ありがとう”

1 3. リハビリ実施状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	304	302	294	315	290	311	304	294	332	316	330	331	3,723

1 4. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
4/2～4/8	お花見	平成町～森林公園へのドライブツアー
8/17～8/20	夏祭り	射的・ヨーヨー釣り・御神輿担ぎ・お菓子釣り等
9/21～9/26	敬老週間	名入れタオル
10/19～10/24	運動会	パン食い競争・玉入れ・お玉リレー等
12/22～12/25	クリスマス会	H31年～R1の写真鑑賞・カゴでキャッチ等

*新型コロナウイルスの影響を鑑みミカン狩りは中止。

15. 施設整備状況

◇ 整備事業

実施月	整備事業名	税込事業費（円）	リースの有無
2.7	チェアバス薬液ポンプ（サイクロンフィルター交換）	92,400 円	無
2.12	冷蔵庫修理	11,000 円	無
3.1	トイレ換気扇交換、浴室蛇口水漏れ修理	17,800 円	無
3.3	チェアバス水位センサー交換	69,498 円	無
2.3	受水槽清掃業務	114,950 円	無

◇ 物品購入（1 件 10 万円以上）

検収月	物品名	税込み購入額	リースの有 無
	購入なし		

16. 事業目標に対する総括

1. 利用者様に充足を感じていただけるように努めます。

①真心をもって本来できるサービスを提供します。

他者との交流が少ないご利用者へのアプローチを行うことで、そういった方々からの相談が増えたことは全体を通して満足度が上がっていると実感が出来た一年でした。
また、ご利用者の減少もあり、爪切りや耳掃除などの時間も随時取ることができた。

②ご利用者との時間を大切に、親切で丁寧な対応に努めます。

どうしても日中にコミュニケーションの時間が取れない職種も、送迎時間内での会話を増やす等職員個々に意識する事ができました。こちらもご利用者の減少から、ご利用者一人に掛けられる時間も増えました。また、自分発信のコミュニケーションが少ない方にも職員から関わることが多くなりましたので、今まで以上に親切で丁寧な対応が出来ました。

③ありがとうメッセージをもらえる事業所 NO.1 を目指します。

デイサービスは、わずか4通と結果としては満足できるものではありませんでした。数ではなく中身だとも思いますが、我々にしかもらえないありがとうメッセージを、1通でも多くもらえる事業運営を行っていききたい。

2. 正しい情報を伝え、情報の漏れが出ない仕組みを作ります。

①伝達事項は全て文章にて回覧します。

回覧担当者（声掛けも含む）を作ったことは皆の意識が向上したことの一つで大きな前進でした。また、口頭か文章で悩んだ時は必ず文章化し、文字に起こして目を通してもらう仕組みは出来たが、時間が経過すると記憶が薄れ、聞いていないということもありましたので、こちらの改善は今後の課題にしたい。

②書き手は伝える、読み手は理解する事を意識した情報伝達を行います。

カンファレンスノートへの記載についてはまだまだ一人ひとりの記録技術の向上が必要。その日に居ない職員でも、ノートに目を通せばおおよそ理解できるという文章が書ける職員が、増えていくように努力していききたい。

3. 地域交流の機会に意欲的に参加します。

①地域の運動会・盆踊り大会への参加を続けます。

昨年に初めて参加した運動会や盆踊り大会はコロナ禍で中止となったが、今年、来年と必ず継続をしていきたい。

②予防教室やほっと一息の定期開催の継続・定着に努めます。

予防教室は中止。ほっと一息については年度当初は地域によっては開催もできていたが、現在のコロナ禍の状況では深長地区のみが開催に前向きに考えて下さり実施できる形となっている。デイサービスにおいても先々の稼働率にも影響してくる必要な事業なので、繋がりが消えないように対応していきたい。

【４】ホームヘルプサービス（訪問介護、総合事業 訪問型サービス）

1. 事業実施地域(令和 2.4.1～令和 3.3.31)

小阿坂町	5	大阿坂町	3	伊勢寺町	5	深長町	1	岩内町	2
日丘町	1	桜町	1	大黒田町	1	川井町	2	美濃田	3
大津	1	大河内町	1	鎌田町	1	五反田	1	嬉野津屋城町	1
小津町	1	井村町	1	虹ヶ丘町	1			ケアハウス	24
								合計	56

*年間を通し 18 の地域の方々へ訪問しました。24 件あったケアハウスへの介入は年度末には 12 件と半数になりました。

2. 職種別職員数(令和 3.3.31 現在)

()内人数は再掲人数

	常勤	非常勤	兼務状況	採用	退職
管理者	(1)		サービス提供責任者		
サービス提供責任者	2				1 名
訪問介護員		3		2 名	1 名

3. 利用状況、訪問回数

単位:人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要介護	463	455	394	385	397	404	386	376	354	365	361	384	4724
総合事業	38	39	40	41	37	42	47	49	49	45	44	49	520
乗降介助	28	24	17	15	18	17	26	26	30	18	25	28	272
初回・緊急加算	3	0	1	1	2	3	2	1	3	1	0	0	17
有償ケア	3	3	2	0	3	1	1	1	1	4	3	8	30
有償輸送	0	4	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3	10

*月平均 464 回の訪問回数(R 元年度:595 回/月)

*コロナ感染症の影響で通院を控えられる方が多く通院乗降は前年の 64%となりました。

総合事業は前年比 132%と増加傾向にあります。

*介入頻度の高い方ほどショートステイ利用や入院で介入キャンセルになる事が多く稼働率低下の要因の一つです。

4. 営業日数

単位:日

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
30	31	30	31	31	30	31	30	29	28	28	31	360

5. 利用実人員

単位:人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
42	39	35	32	34	36	37	35	36	33	31	32	422

6. 要介護状況

単位:人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
事業対象者	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	4
要支援 1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
要支援 2	5	5	5	4	3	4	5	5	6	5	5	5	57
要介護 1	13	12	10	8	10	8	7	7	7	6	5	6	99
要介護 2	12	12	9	9	9	9	8	7	7	7	8	8	105
要介護 3	2	1	1	0	0	2	3	3	3	4	1	2	22
要介護 4	4	4	3	4	5	7	7	6	5	5	5	5	60
要介護 5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	39
未認定	1	0	2	2	1	0	1	1	3	0	1	0	12
合計	42	39	35	32	34	36	37	35	36	33	31	32	422

7.利用期間状況（令和 3.3.31 現在）

単位:人

期間	男	女	合計
1 年未満	3	7	10
1 年～ 3 年未満	5	5	10
3 年～ 5 年未満	2	4	6
5 年～10 年未満	0	4	4
10 年以上	1	1	2
合計	11	21	32

8. 年齢別状況

	男性	女性
最高年齢	95	95
最低年齢	72	55
平均	83.5	84.2
全体平均	83.9	

9. 施設内研修

実施日	内容
R2.5.11	記憶因子と注意因子の自己診断
R2.10.1	伝票と記録の重要性と記入方法について
R2.10.12	訪問介護員の為の感染症対策
R3.1.14	非常勤職員就業規則説明会
R3.1.21	認知症について
R3.3.16	通院等乗降介助について

10. 施設外研修

実施日	内容	出席者
R2.9.4	令和2年度集団指導(自己点検表)	角野

11. 監査・介護情報の公表調査等

実施日	名称	内容	担当者
R2.11.28	介護サービスの情報の公表	パソコンで更新	角野

12. 苦情受付状況

受付日	苦情申立者	苦情内容
R2.11.26	息子様	独居の母親の新聞の契約をヘルパーが勝手にしたと勘違いされた

* 苦情としてあがったケースではありませんが、ヘルパーが直面する問題として反省すべき点も多かったと感じました。独居の方を詐欺等の危険な場面から守ることもヘルパーの大事な役割として認識し、特にご家族や担当ケアマネへのこまめな報告・連絡が必要だと感じた事例でした。

「ヒヤリはっと」状況

受付日	ヒヤリはっと内容
R2.5.12	訪問を忘れて事務所に戻ってしまい遅れて介入した
R2.6.22	パットが上手く当たっておらず汚染した
R2.7.13	IH コンロに鍋がかかっていることに気づかず入浴支援し、入浴終了後空だきの鍋を発見した
R2.10.13	裏紙にコピーした書類を他利用者宅に置いていた
R2.10.18	室内移動中バランスを崩された際支えきれず転倒してしまった
R2.11.13	通院乗降時、車内で印鑑を頂いた後印鑑を返却し忘れていた
R2.12.9	調理支援中、居間にいた利用者が尻餅をついていた
R2.12.23	シャワーチェアを車椅子へ差し替える際フットレストが右下肢に当たってしまった
R2.12.24	11:00 からの介入を忘れ 12:40～介入した
R3.3.12	利用料金を集金した際 10 円多く預かって来てしまった

R3.3.19	灯油を補充した後、灯油缶のキャップを閉め忘れた
R3.3.21	洗濯支援中、居間で椅子に座っていた利用者が左向きに転倒されていた

＊目を離したほんの少しの時間に転倒やしりもちをつかれるなど、大きな事故に繋がりがねない事案がありました。ADLは徐々に低下がみられ注意していても防ぎきれないことがあり対応策を模索する毎日です。

13. ありがとうメッセージ

受付日	申し出者	内容
R2.4.5	ご本人様	以前は身体が弱ったら施設に入るしかないと思っていたが今はヘルパーさんに助けてもらったら家で過ごせるかなと思えてきた。トイレの事など何でも頼める気がして一人暮らしの自分には心強い存在です。
R2.9.24	主治医	何が起こっているか分からない状況でも臆することなく訪問できるメンタルの強さに感服。Sさんに対する思いや優しさ、何より家族と思って接して下さっている。
R2.11.18	娘様	現在入院中で家に帰る望みは薄いかもしれないが「ヘルパーさんに最期までお世話になりたい」と言っていた言葉が頭から離れない。夢のような話ですが母の望み通りヘルパーさんに来てもらい自宅で最期を迎えられたらな・・・
R3.2.3	ご本人様	ヘルパーさんが来てくれるようになり今までの生活とは変わった。めまいも良くなり外にも出られるようになった。ヘルパーさんから元気をもらっています。

＊転倒リスクの高くなった利用者S様への訪問は緊張の連続ですが、住み慣れた自宅で過ごしたいというご本人の思いに寄り添い多職種でかかわっているケースです。目標にも掲げている「家族だと思って接する」という所をかかりつけの先生からのメッセージとしていただいたことは、私たちの支援への評価であると嬉しく感じます。

14. 整備事業・物品購入

《整備事業》

実施月	整備事業	税込事業	リース利用の有無
R2.6	パンク修理(三重 580 ね 8738)	15,455 円	無し
R2.10	車検(三重 580 ね 8738)	101,605 円	無し
R2.11	12 カ月点検(三重 581 こ 6867)	21,120 円	無し
R3.1	車検(三重 581 の 910)	45,500 円	無し
R2.2	車検(三重 581 あ 3528)	114,396 円	無し

《物品購入》

実施月	整備事業	税込事業	備考
R3.2	オゾン脱臭器	211,200 円	コロナ助成金対象
R3.2	ハイパーブロックマスク	110,880 円	コロナ助成金対象
R3.2	プラスチックグローブ	122,760 円	コロナ助成金対象
R3.2	抗原検査キット	84,920 円	コロナ助成金対象

15. 事業目標に対する総括

1. 利用者さんとのコミュニケーションを大切にし良好な関係作りに努めます

＊自分がされたくない事をしてしまわない様言葉や行動に注意し、利用者さんを大切な家族だと思って接するよう努めてきました。思いやりを込め、思いを汲み取れる様にとそれぞれが努めましたが、中には適切な支援に繋がらないケースもありもどかしさを感じながらの毎日です。職員それぞれの思いを共有しながら話し合い解決への努力を続けていきたいと思ひます。

2. 「知る」「知らせる」を意識して業務に取り組みます

＊一人一人が情報収集を意識して業務に取り組めるようになってきたと思ひます。メモに残したり、回覧をチェックするなど日常の業務の中で良い習慣になっています。また、それぞれが知り得た情報を発信し事業所内での情報共有に繋がっていると思ひます。

3. 近隣地域との交流に積極的に取り組みます

＊新型コロナ感染症の影響で直前まで予定していたほっと一息への参加も中止となり地域との交流の機会はありませんでしたが、CA会議を通して新しい形での取り組み方を学ぶ事ができたと思ひます。

【5】居宅介護支援事業所

1. 活動区域別状況

単位:人

小阿坂町	49	伊勢寺町	36	日丘町	8	深長町	17	岩内町	13
八重田町	14	大阿坂町	20	小野町	3	美濃田町	15	野村町	2
川井町	8	嬉野町	16	大黒田町	4	曲り町	1	西野町	3
矢津町	4	久保町	2	藤の木町	2	塚本町	2	丹生寺町	1
上川町	1	大津町	1	小片野町	1	鎌田町	3	笹川町	2
新町	1	船江町	1	南町	1	中央町	1	東黒部町	2
虹ヶ丘町	1	殿町	3	桜町	4	垣鼻町	1		1
宝塚町	1	光町	2	大河内町	2	岡山町	1		
中万町	1	春日町	2	内五曲町	1	山室町	4		
阪内町	1	茅原町	1	田村町	1	井村町	1		
出曲り	1	平成町	1	五反田町	1	中町	1		
								ケアハウス	27

※51町・年間293名の利用者さんとの関わりがありました。

2. 職種別職員数（令和3.3.31現在）

単位:人

	員数		兼務
	常勤	非常勤	
管理者	1	0	在宅事業所長・主任介護支援専門員
介護支援専門員	4	1	2名主任介護支援専門員兼務

※経験豊富な平均年齢53.7歳 主任介護支援専門員が3名となりました。

3. 利用状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	53	58	64	60	57	59	59	61	63	59	56	57	706
介護	145	159	147	153	147	145	137	142	140	144	143	148	1750
合計	198	217	211	213	204	204	196	203	203	203	199	205	2456

※予防(事業対象も含む)平均59件 介護の平均146件となりました。(昨年より予防が4件増え、介護が6件減)

※収入的には減収となりました。

4. 要介護状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	13	13	13	12	12	11	13	13	17	15	16	16	164
要支援2	17	18	19	22	16	20	18	18	17	17	15	14	211
事業対象	23	27	32	26	29	28	28	30	29	27	25	27	331
合計	53	58	64	60	57	59	59	61	63	59	56	57	706
要介護1	56	61	59	55	59	59	56	57	57	60	61	65	705
要介護2	46	46	40	43	41	37	36	37	34	33	32	38	463
要介護3	23	26	23	29	23	19	20	20	22	23	22	19	267
要介護4	12	17	16	19	17	20	19	19	19	18	20	18	211
要介護5	8	9	9	9	7	10	9	9	8	10	8	8	104
合計	145	159	147	153	147	145	137	142	140	144	143	148	1750

※約全体の3割弱が総合事業対象者です。

5. 利用期間状況 (R3.3.31 現在)

単位:人

期間	男	女	合計
1 年未満	9	21	30
1 年～ 3 年未満	14	43	57
3 年～ 5 年未満	15	27	42
5 年～10 年未満	11	45	56
10 年～15 年未満	4	10	14
15 年以上	0	5	5
合計	53	151	204

*介護保険始まって以来の方が数名ご利用いただいております。

6. 年齢別状況

	男性	女性
最高年齢	95	102
最低年齢	55	55
平均	83.9	84.7
全体平均	84.3	

*女性の最高齢が毎年更新中です。

7. 相談状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
実相談	143	139	146	136	129	129	139	146	193	136	139	133
(新規)	1	2	4	3	6	3	4	5	4	3	3	7
継続相談	174	184	173	194	136	193	198	163	190	117	123	160

*年末年始に新規依頼が多くとても忙しい日々でした。ケースオーバーを考慮し入所で助けてもらいました。

8. 相談状況

単位:件

	訪問	来所	電話	合計
モニタリング	2,153	0	32	2,185
実態把握	1,385	20	839	2,244
医療連携	89	0	241	330
介護者相談	464	24	834	1,322
サービス相談	974	3	352	1,329
住宅改修・福祉用具購入	0	0	0	0
虐待発見相談	1	0	0	1
成年後見・権利擁護	0	0	0	0
苦情受付・相談	15	0	11	26
書類の申請代行	181	4	52	237
その他	279	15	635	929
合計	5,541	66	2,996	8,603

9. 加算状況

単位:件

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
初回	3	9	6	9	6	7	7	9	11	6	8	8	89
医療連携Ⅰ	4	2	4	4	5	9	4	6	5	2	4	3	52
医療連携Ⅱ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
退院・退所	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	5
緊急カンファ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定Ⅱ	145	159	147	153	147	145	137	142	140	144	143	148	1750

10. 施設内研修

《自主研修会・在宅事業部自主研修会》

実施日	研修内容	担当
4月 4日	令和2年度 研修計画・役割分担・行事への参加を含めた話し合い	松葉
5月 9日	個人目標と事例検討会 事例提供 島田ケアマネ	島田
6月 6日	事例検討 コロナ禍での自粛により機能低下した事例の支援について	金児
7月 4日	事例検討 在宅生活希望の本人と施設希望の家族さんとの意見が相違している事例	川北
8月 1日	本人と家族の介護保険サービスに対する意向が違う事例	谷口
9月 5日	利用者の心をひらくプロの『聴き方』『伝え方』	谷
9月 18日	三法人(なでしこ苑・さわやか苑・南勢カトリック)合同事例検討会	谷
10月 3日	伝達研修 居宅介護支援業務の押さえどころ～根拠のない『伝承』からの脱却	金児
11月 7日	伝達研修 予防プラン作成のポイント	金児
1月 9日	入退院時における医療との連携	川北
2月 6日	伝達研修 成年後見制度について	谷口
3月 6日	R3年度 事業所内の決め事・役割分担等	島田

*コロナ禍の中今年度も三法人(カトリック・なでしこ・さわやか)にて、コロナ禍ではあったが合同自主研修会を行いました。10人ほどの事例検討会でしたが、活発な意見交換にて自身ではわからなかった気づきに出会い一つ知識が増えました。

*令和2年は、全員が担当となり事例検討を中心にケアマネ協議会の研修会の伝達研修を組み込みました。

11. 施設外研修

《三重県及び松阪市主催》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
11月 4日	インターネット研修 新型コロナウイルス感染症対策研修会	伊勢寺デイサービス ぬくもりの家(Web研修)	島田

*上半期は、殆ど研修案内もなくコロナの影響が大きかったです。

《介護支援専門員更新研修Ⅱ》

	介護支援専門員専門研修過程Ⅱ：5日間 32時間	開催場所	出席者
10月 20日	介護保険制度全般及びリハビリ・福祉用具活用について	県・総合文化センター ・多目的ホール ・セミナー室A ・セミナー室C	川北
11月 5日	看取り及び認知症に関する事例検討		
11月 11日	入退院及び家族支援の視点が必要な事例検討		
12月 1日	社会資源及び多様なサービスの活用に関する事例検討		
12月 16日	総合的な事例発表と振り返り		

*更新研修も会場での研修会は今年が最後との事。来年度より Web 研修になる予定です。

《介護支援専門員協会研修会》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
5月 19日	松阪支部・総会 コロナにて書面表決		6名
6月 14日	県・総会 コロナにて書面表決		6名
9月 11日	支部・第1回研修会 居宅介護支援業務の押さえどころ	嬉野社会福祉センター	2名
10月 20日	支部・第2回研修会 予防プラン作成のポイント	〃	2名
11月 24日	支部・第3回研修会 成年後見制度について	〃	2名
3月 23日	支部・第7回研修会 R3年4月介護報酬改定について	ケアハウス会議室	6名

*ケアマネ研修会も、コロナの影響で8月まで中止となり9月からスタートとなった。今後は Web 研修主体となっていく。

《事例検討会：第一・第二・第四・第五包括支援センター》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
第二地域包括			
7月13日	事例検討 自宅で最期を迎えた事例	嬉野社会福祉センター	2名
11月13日	〃 サービス拒否の方へのインフォーマル支援	嬉野社会福祉センター	2名
3月16日	事例検討 妻が抱えてしまう医療依存度の高い支援	〃	2名
第五地域包括			
6月24日	きやりああつふ倶楽部 虐待の現状と関わったケース	花岡市民センター	2名

*第五包括は、計画されていたがイベント自粛となり6/19に中止になった。

*第一包括・第四包括は、研修及び事例検討会は開催されなかった。

*第二包括は、定期的に開催されていたが、当事業所は3回しか参加しておりません。

《その他》

*コロナ過で研修会の開催もなく事業所内で静かに業務を行う1年でした。

12. 監査・介護情報の公表調査

実施日	名称	内容	担当者
11月24日	介護情報の公表	パソコン入力	島田

13. 苦情受付の状況

受付日	苦情申立者	内 容
6月18日	利用者	他の事業所利用のショート中、外国人介助員さんの対応について(早朝の排泄介助をしてもらえなかった。)
9月14日	利用者	ショート利用者の連絡表の記載内容と事実と相違があった
10月9日	利用者	ショート利用中、ナースコールを押しても来てくれないので自分で動いたら乱暴な言葉で叱られた。
11月25日	家族	本人に代わっての契約をしたと・・・誤解を招いた(実際は、新聞屋さんの言い逃れだった)が、これらの事を連絡ノートに記載して来なかった。
12月19日	利用者	デいの送迎時、通常の場合まで送らなかった。 爪切り及びリハビリに関しての言葉かけについて。

*いつもながら少し気を付ければ苦情にならない事ばかりです。

14. 行事 《地域支援事業・ほっと一息》

★印は、リーダー

開催地区	開催日	参加人数	講師及び参加職員
美濃田地区	6月15日(月)	中止	
	10月14日(水)	22名(男性 2名・女性 20名)	★島田・林・木下・安富・中村
	12月14日(月)	中止	
八重田地区	6月6日(土)	16名(男性 9名・女性 7名)	★島田・前川・野口・西村
	12月12日(土)	中止	
	3月6日(土)	中止	
深長地区	4月8日(水)	中止	
	7月8日(水)	15名(男性 2名・女性 13名)	★岡田・吉田・白樫・島田
	9月9日(水)	15名(男性 2名・女性 13名)	★野口・谷口・鈴居・鍛野
	11月11日(水)	12名(男性 2名・女性 10名)	★島田・森上・北浦・吉田
	3月10日(水)	12名(男性 2名・女性 13名)	★野口・川北・出口・辻本
伊勢寺・荒井地区 北村地区 〃	4月2日(木)	中止	
	4月16日(木)	中止	
	10月1日(木)	中止	
大阿坂地区	5月9日(土)	中止	
	9月12日(土)	中止	
	11月14日(土)	中止	

*令和2年度は、17回計画しましたが、コロナの影響で6回のみで開催でした。

＊地域社会の交流だけにとどまらず、出来るだけ沢山の職員さんの協働行事として計画しましたが、
実職員 16 名、地域住民延べ92名となり昨年の391名を大きく下回りました。

今年度は、5 月の予防教室だよ！全員集合や秋祭りの開催が中止になった事も大きな要因になっています。

＊又、伊勢寺ぬくもりの家の夏祭り・阿坂地区の盆踊りや運動会・松阪市合唱フェスティバル等軒並みにイベントが中止となりとても寂しい年でもありました。

15. 整備事業

なし

16. ありがとうメッセージ

総数	18 件
法人	0 件
特養	3 件
デイサービス	3 件
ぬくもり	4 件
ヘルパー	5 件
ケアハウス	0 件
他の事業所	3 件

17.事業目標に対する総括

①仕事には使命感を持ち働きには喜びを感じる事業所にします。

＊それぞれの意向の言葉を大事にし、核となる部分を関係者で共有し計画書に認められた方や計画書に記載する言葉選びに苦勞された方など様々でした。しかし、どのケアマネも利用者さんや家族さんの心の奥に潜んでいる思いを聞き出し少しでも元気に笑って過ごして頂けるように努力した。

＊皆さんとの出会いは、自身の成長に繋げる事ができている。

②『話したつもり』『聴いていない』『誤報』のやり取りをなくします。

＊端的に話す時は、電話。長引きそうな時は訪問を心がけている方や勤務時間帯での自身の時間管理を行い一呼吸おいて冷静な対応ができるように努力していた。反復して確認したり、FAX で確認したり。それぞれの努力がうかがわれた。

＊言葉には人により捉え方が違う事があるので、話したつもりが伝わってない事があり難しさを感じている。

③地域と法人を繋ぎます。

＊コロナの影響で地域支援事業が計画通りに進まなかったが、利用者さんが新たな利用者さんを紹介してくださり、今までのコツコツとした繋がりが地道に浸透してきているのを感じた。

＊地域の情報を素早くキャッチは、難しい部分もありますが、地域から勤めに来てくださっている方のお力を借りながら、事業が出来ているのは間違いない事実であることを実感した年でもあった。

【6】 伊勢寺デイサービスぬくもりの家（通所介護・総合事業 第1号通所事業）

1. 職種別職員数

単位：人

R3 年 3 月末現在			兼務等の状況	R2 年度実績			
職種	員数			採用		退職数	
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	常勤	非常勤
センター長	1						
介護職	3	3	生活相談員、調理員		1	1	1
看護師		3	機能訓練指導員		1		
管理栄養士							
調理員		3	介護職				
生活相談員	2		センター長、介護職				
事務員							
機能訓練指導員		3	看護師		1		
運転士							
用務員					1		

2. 利用状況、月別入退所状況（各月末日数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
延利用	357	327	394	413	392	380	426	419	387	397	415	448	4,755	396.2
新規利用	0	0	1	1	2	6	3	1	1	0	2	0	16	1.3
利用中止	0	2	0	1	1	2	1	0	2	0	2	1	12	1.0

○利用状況についての評価・考察

* 4、5はコロナ感染症の影響もあり稼働率は低下しましたが、それ以降稼働率は戻り、6月以降は伸びることができました。その要因として、利用回数を増やされる方が多くいた、定期的に新規利用者がいた、体調を崩しやすい夏場・冬場に休む利用者様が少なかった事があげられます。

* 延利用者数は、4,755名（昨年度より＋220名）でした。新規利用は16名（昨年度より－4名）でした。

3. 地域別利用者分布（R2.3.31現在）

地区名	人数
伊勢寺	16
大阿坂、小阿坂、美濃田	17
深長、八重田、野村、岩内、日丘	5
その他	20
計	58

4. 営業日数

単位：日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	26	26	27	26	26	27	25	25	24	24	27	307

5. 利用実人員

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
49	47	51	49	49	49	54	54	54	54	52	52	614

6. 要介護状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比(%)
事業対象者	5	5	5	5	5	4	5	3	2	1	1	1	42	3.5	6.8
要支援1	8	6	5	5	5	6	5	7	8	8	8	9	80	6.7	13.0
要支援2	8	7	9	9	7	7	9	9	9	9	9	8	100	8.3	16.3

要介護1	13	13	15	14	16	18	20	20	21	21	19	20	210	17.5	34.2
要介護2	11	11	11	10	9	7	7	7	5	5	5	5	93	7.8	15.1
要介護3	3	4	5	5	5	5	6	6	6	7	7	6	65	5.4	10.6
要介護4	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	12	1.0	2.0
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	2.0
合計	49	47	51	49	49	49	54	54	54	54	52	52	614	51.2	100

＊地域別利用者分布としては、伊勢寺の方が1番多くご利用していただきました。「あの人が行っているから…」という理由で、体験・新規利用につながるケースが多くありました。伊勢寺の方のご利用が増えているということで、今後も地域の方から必要とされる施設を目指していききたいと思います。

＊介護度別では要介護①が多く、全体の約34%を占めています。要支援から要介護①になる方も多くいました。お元気な方を対象としたデイサービスであるために、今後も軽度の方の受け入れを積極的に行っていきたいと思います。

7. 施設内研修

研修名	開催年月日	参加職種
【自主勉強会】嚥下障害について	6月29日(月)	センター長、副主任、生活相談員、看護師、介護職員
【自主勉強会】高齢者の疾患について	7月24日(金)	センター長、副主任、生活相談員、看護師、介護職員
苦情第三者委員との意見交換会	7月25日(土)	副主任
【自主勉強会】誤嚥時の対応について	9月21日(月)	センター長、副主任、生活相談員、看護師、介護職員
【自主勉強会】認知症について	11月16日(月)	センター長、副主任、生活相談員、看護師、介護職員
【自主勉強会】災害時の対応について	2月26日(金)	センター長、副主任、生活相談員、看護師、介護職員
【自主勉強会】筋力低下予防の体操について	3月29日(月)	センター長、副主任、生活相談員、介護職員

8. 施設外研修

研修名	主催	開催年月日	開催場所	参加職種
介護福祉士実務者研修	朝日グリーンサービス株式会社	7月1日～10月20日の間の7日間	せせらぎ嬉野オンライン研修	副主任
新型コロナウイルス感染症対策研修会	三重県	11月4日(水)	伊勢寺デイサービスぬくもりの家(オンライン研修)	センター長

＊自主勉強会は非常勤職員も加わり、各職員が交代で担当を担い開催する事ができました。内容も各々が関心のある内容で実施する事ができましたので、スキルアップにつながったと思います。

＊今年はコロナ感染症のために、施設外研修にはほとんど参加する事ができませんでした。その分感染対策について全職員で案を出し合い、対策を行う事ができていますので、今後も続けていきたいです。

9. 苦情受付状況 ※書面での苦情は無し

受付日	苦情申立者	内 容
11月17日(火)	本人様	リハビリパンツの貸出しを行ったので、口頭で説明し、貸出し伝票を連絡袋に入れる。ご利用時に「借りていない物(リハビリパンツ)を返せと言われた。」と強い口調で訴えがある。

10. ありがとうメッセージ

受付年月日	申し出者	内容
8月22日(土)	本人様	素晴らしい職員ばかりです。隅々まで目が行き届き、利用者さんをゆったりとした気持ちにさせてくれるデイサービスです。
11月27日(金)	本人様	職員の教育が行き届いており、ゆったりとのんびりできる素敵なデイサービスです。静養室・浴室・トイレなどのプライバシーの配慮もできる設計になっていて、建物も素晴らしいです。

※ 苦情…この件が原因でデイをしばらく休まれていました。口頭での説明＋書面(貸出し伝票)を見せて説明を行えば、今回のような事にはならず済んだと思います。事業目標にもあるように、文章に残し伝えていくことを徹底したいと思います。

※ ありがとうございます…2 通いただく事ができました。ゆっくりと過ごしていただける場にしたいと思っていますので、これを励みに頑張りたいと思います。しかし忙しい時間帯には慌ただしくしてしまう事がありますので、対策を考えていきたいです。

1 1. リハビリ実施状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	308	279	347	364	350	350	372	350	307	316	346	372	4,061

1 2. ほっと一息

実施日	場所	参加職種
6月6日(土)	八重田	センター長
7月8日(水)	深長	生活相談員
9月9日(水)	深長	センター長
11月11日(水)	深長	介護職員
3月10日(水)	深長	センター長

1 3. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
8月1日(土)、7日(金)、11日(火)、20日(水)、27日(木)、31日(月)	夏まつり	輪投げ、ボールスイカ割り、ヨーヨーすくい お菓子引き、綿菓子作り
10月2日(金)～10月29日(木)	ブリザーブドフラワーの展示	【内容】 ・ジャンボリース作り…利用者様全員 45名、職員 ・個人作品…木曜日の利用者様 18名 【展示場所】 (旧)第三銀行 本店営業部
10月2日(金)、6(火)、14(水)、19(月)、24(土)、29(木)	運動会	玉入れ、借り物競争、お玉リレー、菓子食い競争など
12月1日(火)～5日(土)	4周年祭	12月1日『周年祭ケーキ作り』 【時間】14:00～15:30【参加者】15名 12月2日『お楽しみゲーム&おやつ作り』 【時間】14:00～15:30【参加者】19名 12月3日『お楽しみゲーム&おやつ作り』 【時間】14:00～15:30【参加者】15名 12月4日『コーラス斎王 様』 【時間】14:00～15:10【参加者】15名 12月5日『フラダンス 様』 【時間】14:00～15:00【参加者】16名
12月21日(月)～26日(土)	クリスマス会	サンタクロースと写真撮影・プレゼント(クッキー)渡し

(月例行事)お誕生会、リンパマッサージ、講師の先生によるコーラス・音あそび・健康体操・ブリザーブド・生花・太鼓
【ほっとひと息】5 回参加しました。ぬくもりの家の職員はデイサービスで勤務しているという事で、体操やレクリエーションの部分を中心に担当させていただきました。

【太鼓】R2 年 4 月から先生に来ていただいています。月に 1 回で、曜日を固定せずにランダムに来ていただいています。

【ブリザーブドフラワーの展示】10 月 2 日(金)～29 日(木)、(旧)第三銀行にレク講師で来ていただいている黒宮先生の指導のもと作品の作成を行い出展しました。先生が木曜日に来ていただいているので、木曜日の方は個人作品、全員でジャンボリース作りました。ご家族と作品を見に行かれた方も多く、喜んでいただきました。

【4 周年祭】感染症対策を行い予定通りに実施する事ができました。12 月 4 日のコーラス斎王さんでは発表を聞くだけではなく、中止になった“合唱フェスティバル 2020”に向けて練習してきた曲をコーラス斎王さんに向けて発表させていただきました。

1 4. 施設整備状況

《整備事業》

実施月	整備事業名	税込事業費(円)	リースの有無
6,9,12,3月	浄化槽の維持管理業務	39,800 円／年	無
6,9,12,3月	浴槽用ろ過機(ろ過装置、薬注装置)の保守点検	152,350 円／年	無
5月	貯水庫修理	39,380 円	無
5月	給湯器の部品交換	130,000 円	無
6月	ろ過機ろ材交換及び配管洗浄工事	140,800 円	無
6月	貯水庫の清掃	38,500 円	無
8月、1月	消防機器の保守点検	55,000 円／2回	無
12月	浄化槽清掃費	98,000 円	無
12月	フロア内のワックス清掃	55,000 円	無

＊浴槽用のろ過機では、年に4回の保守点検を受けているので、152,350 円という設備費がかかりました。

年に1回、ろ材交換及び配管洗浄工事の実施が必要のため実施しています。

＊5月には、貯水庫修理と給湯器の部品交換を実施しています。開設し4年が経ちますので、機械の故障が少しずつ出てきています。

《物品購入》(1件10万円以上)

検収月	物品名	数量	税込み購入額	リースの有 無
	該当なし			

1 5. 事業目標に対する総括

1. 継続して利用していただけるデイサービスを目指します。

＊気持ちよく過ごせる空間作りとして、デイサービス内の整理整頓と除菌に力を入れました。日々の感染症対策と厨房の食中毒対策は、各々職員が気を付けて対応してくれました。特に今年はコロナ感染症対策として、テーブルの除菌回数を増やす・食事前とおやつ前に手指アルコール消毒を追加で実施するなど、対策も行う事ができました。目標達成に向けて取り組めたと感じた職員も多く、実施できていますので、今後も続けていけるようにしたいです。

＊年間を通して稼働率が上がったのは、職員が個々の役割を把握し、行動に移せたからだと思います。『ありがとうメッセージ』は昨年度よりも少なくなりましたが、伊勢寺の利用者様が増えた事は大きな自信になりました。

2. 情報・連絡は文章化し、情報共有します。

＊多くの職員が、聞いた情報はノートへ記録を意識する事ができたようでした。それと夕方のカンファレンスでは、積極的な意見交換を行う事ができるなど情報共有もできました。利用者様の状態変化がみられる中で大きなトラブルが起きなかったのは、その成果だと感じています。しかしその情報が非常勤職員にまでは行き届かない事もありますので、R3年度以降の課題にしていきたいです。

＊回覧書類を素早く確認するという事で、5日以内に確認することを目標にしました。閲覧の遅い職員には声掛けを行うなど、職員間での意識も高まっています。

3. 近隣住民と接する機会を持ち、アピールしていきます。

＊ほっとひと息には参加しましたが、その他の行事は中止になり近隣住民との交流は普段の挨拶程度になりました。そのために職員の評価でも「地域との交流はできなかった」という意見が多かったです。全職員でパンフレットを作成するのを目標にしましたので、R3年度は達成できるように取り組んでいきたいです。

＊今年はコロナ感染症で、対応に悩まされました一年でした。行事がほとんど中止になる中で、レクリエーションでは、10月のブリザードフラワーの展示、12月の周年祭を予定通りに行ったのは良かったと感じています。10月のブリザードフラワーの展示では、皆で作品作りに参加して喜ばれる方が多くいました。12月の周年祭では、合唱フェスティバルが中止になる中で、コーラス齋王さんの合唱を聞かせていただくだけでなく、コーラス齋王さんに向けて合唱することができたのはとても良い場を持つことができました。

R3年度も感染症は続くと思いますが、すべての行事を中止にするのではなく、開催できる方法を職員で考えていきたいと感じました。

【7】 ケアハウス

1. 職種別職員数 (R3.3.31 現在)

単位：人

職種	員数		兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1		事務員兼務				
介護職	2						
栄養士	1						
生活相談員	2						
宿直専従員		1			1		1
計	6	1					

2. 利用状況、月別入退所状況 (各月末日)

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用人員		43	40	41	40	40	41	42	41	41	41	41	42	493	41.0
入所人員	男							1						1	
	女			1	1		1	2	1				1	7	
退所人員	男						1							1	
	女	2	2	2			1	2					1	10	

3. 入退所理由

入所直近の状況	人	退所理由	人
在宅	8	死亡による	2
老人保健施設		在宅復帰	
養護老人ホーム		長期入院	2
ケアハウス		特養	4
病院		他施設	3
短期入所継続		その他	
他施設			

※退所理由の概況

他施設：グループホーム1、サ高住1、ショートステイ(特養入所待ち)1

4. 要介護状況 (R3.3.1 現在)

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
総合事業	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	27	2.3
要支援1	5	5	4	5	5	5	5	5	6	6	6	6	63	5.3
要支援2	4	4	5	5	5	5	5	5	5	6	5	4	58	4.9
要介護1	13	12	10	11	12	11	10	9	9	8	8	8	121	10.1
要介護2	10	9	6	5	5	5	5	5	5	6	8	8	77	6.4
要介護3				1	1	1	3	3	3	3	2	2	19	1.6
要介護4	1	1	3	2	2	3	2	2	2	2	2	3	25	2.1
要介護5			1									1	2	0.2
合計	35	33	31	31	32	32	33	32	33	33	33	34	392	32.7

※昨年度に比べると、要介護者が30人から32.7人に増加。総合事業1.5人から2.3人・要支援1が4.7人から5.3人にそれぞれ増加。要介護3の方0人から1.6人・要介護4の方0.8人から2.1人 要介護5の方が0人から0.2人にそれぞれ増加した。

5. 入居期間状況 (3.3.31 現在)

単位：人

期間	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	1	4	1	3	0	1	10
女	8	7	5	5	3	4	32
計	9	11	6	8	3	5	42

※昨年度に比べると1～3年未満6名から11名に増加。5年以上の方はそれぞれ減少している。

6. 年齢別状況 (R3.3.31 現在)

単位：歳

	男性	女性
最高齢	95歳	95歳
最低齢	77歳	62歳
平均	85.3歳	85.2歳
全体平均	85.2歳	

※平均年齢は昨年度より 0.4 歳下降、

7. 各種会議

会議名	出席者職名	実施月
職員会議	施設長、主任、栄養士、相談員、ケアワーカー	毎月1回
課題解決会議	同上	毎月1回
処遇会議・ケース会議	同上	毎月1回
身体拘束委員会	同上	毎月1回
入居判定委員会	同上	随時
給食会議	施設長、栄養士、委託業者	毎月1回
PA 会議	施設長	毎月1回
事務会議	施設長	毎月1回
第三者委員会	相談員	年2回

8. 施設内研修

開催年月日	研修テーマ等	参加職種
4/14. 10/20. 11/10	広報委員会	ケアワーカー
5/19.6/16.7/22.8/18.9/15.10/13.11/17.12/15.1/19.3/16	地域支援会議	相談員

9. 施設外研修

	研修名	主催	参加職種
9/1	三重県老施協 WEB 研修導入セミナー	三重県老施協	施設長
	全国軽費老人ホーム協議会「緊急セミナー (WEB 開催)」	全国軽費老人ホーム協議会	施設長
9/24	令和2年度 給食施設従事者研修会	地域栄養管理ネットワーク研究会	栄養士
10/16	軽費ケアブロック会議(WEB 開催)	三重県老施協・全軽協	施設長
11/24	介護現場におけるリスクマネジメント研修会	三重県老施協	ケアワーカー
	新型コロナウイルス感染症対策セミナー	三重県老施協	相談員
	三重県老施協軽費ケア部会・全軽協三重ブロック合同研修会	三重県老施協・全軽協	施設長
1/29	全国軽費老人ホーム協議会 全国職員研究会議 (WEB 大会)	全国軽費老人ホーム協議会	ケアワーカー

10. 苦情受付状況

受付日	苦情申立者	内 容
6/21	入居者	入居者に提供する給食の渡し間違い
7/2	なし	入居者同士の車の乗り合いについて
12/1	なし(事故)	入居者が迷子になった事例
12/14	家族	ご家族への情報提供が行えていなかった事例

11. 行事

実施日	行事名	内容・参加者等
4/2	開設記念	入居者に紅白饅頭配る
4/12	御復活昼食会	昼食会・御復活特別メニュー
5/5	端午の節句	端午の節句メニューとしょうぶ湯
6/1	ビンゴゲーム	5/1より週2回数字を発表。ビンゴ後景品交換
7/1	入居者健康診断	松阪市健診センターより健康診断実施
8/5	夕涼み会	祭りの出店風飾り、くじ引き
8/21	かき氷の日	入居者にかき氷のふるまい

8/25	避難訓練	ケアハウス避難訓練
9/21	敬老昼食会	敬老の日昼食会、記念撮影
10/26.27.30	ビデオ上映会	8時だよ!全員集合・ローマの休日・おくりびと 上映
11/12	紅白ゲーム大会	ゲームにより入居者同士の交流を図る
11/20	避難訓練	ケアハウス避難訓練
12/3	入居者忘年会	夕食会・くじ引き・職員出し物(ハンドベル)
12/21～27	季節風呂	ゆず風呂
12/25	クリスマス昼食会	クリスマス昼食会・クリスマスプレゼント
1/1	元旦昼食会	元旦昼食会・お屠蘇のふるまい
1/1～1/3	正月三が日行事	初春書初め・すごろく・トントン相撲、神経衰弱
3/17.19.24.25	買物ツアー	嬉野ピアゴにて入居者が買い物
3/26	避難訓練	

(月例行事)誕生会、喫茶くつろ木、お楽しみパン、移動ティーサロン、連絡会、清掃デー、各種クラブ
お楽しみパン、販売の日世古口衣料、慰霊祭、御ミサ他

1 2. クラブ活動等

	気まぐれクラブ		創作クラブ		音楽クラブ		頭の体操クラブ		計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	1	7	1	5	1	10	1	4	4	26
8月	1	4	1	7	1	4	1	6	4	21
9月	1	7	1	6	1	4	1	5	4	22
10月	1	6	1	7	1	7	1	6	4	26
11月	1	6	1	4	1	6	1	5	4	21
12月	1	6	0	0	0	0	1	6	2	12
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	36	5	29	5	31	6	32	22	128

1 3. 施設整備状況 (1件 10万円以上)

実施月	整備事業・物品名	税込事業費(円)
1/15	① 入口門扉修理、308号引き戸修理	110,000
2/15	② 真空式温水ヒーター保全修理・濾過器異音修理	198,000
7/15	③ 小型電気温水器(25L) INAX EH6 台	530,000
8/14	④ 非常用発電機蓄電池交換	297,000
10/26	⑤ 1号機放流ポンプ取替工事	220,000
11/13	⑥ 313号天井張替、316号トイレ流れ、206号便座修理	167,200
	計	1,522,200

《整備及び物品購入について、取替え、交換・購入の理由》

- ① 電気温水器交換 5階6室：1992年製電気温水器につき経年劣化のため、計画的順次交換、今回で終了。
- ② 非常用発電機蓄電池交換：法定検査により指摘、速やかに改善。
- ③ 1号機放流ポンプ取替工事：経年劣化に伴う故障、交換。
- ④ 313号天井張替、316号トイレ流れ、206号便：居室の経年劣化。個人負担のそぐわない部分につき、退居時の原状復帰を実施。
- ⑤ 温水ヒーター・濾過器異音修理：浴槽湯循環回路一部、経年劣化により異音発生(部品交換)

1.4. 事業目標に対する総括

- 令和2年度はコロナ感染拡大の影響を多大に受け、サービス向上及び稼働率アップと安全対策とのバランスをとる事が難しかった。ことに感染予防対策では予想外の対応や支出を見た。入居者全員が不安を抱えている中、今年度も柔軟な施設運営が求められているが、信頼を第一に考えていきたい。また、日々、感染予防に尽力する職員が、私生活においても福祉施設職員という自覚をもって、健康管理に気遣い、長期的な不要不急の外出自粛等続けた。お誕生日休暇が検討され今年度の実施につながったことを感謝している。
- 民法改正によって、退去時の原状復帰の考え方が変わったことや、福祉施設での高額請求が似つかわしくない部分の改善により、施設による退去時居室修繕の幅が広がった。また築29年目となり、共用設備の劣化も進んでおり、修繕場所が増えている。今後の大型修繕を見据え、入居者の生活に影響がない様、計画的に実施していきたい。

〔目標の振り返り〕

1. 利用者様の生活満足度を高めます。
 - 一年に及ぶコロナ感染予防対策により、行事の中止だけでなく、食事場所の変更や、一部介護サービスの停止、面会や外泊の自粛等、多大なご不自由や忍耐を入居者様及びご家族へお願いする事態となった。
 - 感染対策については、パーティションや除菌装置の設置、密を避けた新しい形での行事実施、新規入居の際のPCR検査実施等、職員間で意見を出し合い、安全との両輪でサービスを提供した。生活満足度の引き上げについては非常に厳しい1年であったが、安全面での信頼を得ることが出来たと感じる。特に、濃厚接触者を2週間ケアハウス内で様子観察した際、入居者からは心配の声にもまして、心のこもった協力や励ましを頂き、職員一同支えられた。非常事態に面し、ケアハウスは職員・入居者が一体で生活していることをあらためて感じた。直近では、ワクチン接種を全員が無事完了できるよう調整し、今後も安心した生活を提供していけるよう努めたい。
 - 新規入居中止の期間があったものの、目標数値には届かなかった。適切な時期に迅速に入居を進めていけるよう準備を整えたい。又、転倒等の事故回避、ADL・認知力維持にも注力し、入居人数を安定させたい。
2. 働きやすい職場・豊かなコミュニケーションを育て円滑かつ効率的な情報交換をします。
 - “入居者との関わりを持つ”という課題について、定期的に話し合い、忌憚ない意見を出し合えたことで、受持ち制の導入、定期的な個別訪問、ひやりはっと事例の収集と振り返り等、具体的な実践へつなげる事ができた。また、仕事とプライベートの両立を図るため、お互いの事を理解しあう機会を持ち、対話を通して解決していくことが出来た。
 - リモート研修は、時間を有効に使う事ができ、またコロナ感染対策・リスクマネジメント等の新しい情報に触れることもでき、有意義だった。今後もリモート研修なので積極的に参加し学んでいきたい。
3. 地域交流の機会に積極的な参加します。
 - 感染のおさまっている時期に合わせて参加することができた。今後も感染対策を十分に行い、新しい形での関わり方を考えていきたい。また、未だ予断の許さない状況だが、柔軟な活動を他部署との協力のもと行っていきたい。